

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	09	104600	教育普及事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5	芸術文化の振興		
	施策	3	文化財の保護と活用		
目的	博物館事業の教育普及活動				
対象	市民、児童・生徒、教師				
意図	市内小中学校の児童生徒に博物館での学習を通じて、ふるさとの歴史文化への興味と関心を深め郷土を愛する心を養う。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○資料収集活動事業					
○調査研究活動事業					
○展示活動事業					
○教育普及活動事業	博物館と学校教育の連携による調査・研究 体験学習・各種講座の開催				
市民参画の有無	〔 対象外 〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 講座開催回数	回	計画	13	13	
		実績	32	33	
② 体験学習開催回数	回	計画	16	16	
		実績	27	20	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 講座受講者数	人	目標	290	600	
		実績	974	1,328	
② 体験学習受講者数	人	目標	300	300	
		実績	625	434	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
年度当初に計画した館主催の講座に加え、市内各小学校への出前授業、地域コミュニティの集まりなどの出前講座の要望が多数あった。市民の花巻の歴史や文化に対する学習意欲の向上が感じられた。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
従前の講座に加えて新たな講座を取り上げることでメニューの充実を図った。花巻の歴史や文化の知識を深めるだけでなく、受講者自らが創造の担い手として伝統を受け継ぐ可能性に配慮した。博物館と小中学校との連携については、年を追うごとに事業の成果があらわれてきている。博物館でのワークシートを活用した見学学習や、実際に各校におもむいて出前授業を行うことで、親しみのもてる歴史や文化の学習を目指した。学習メニューの作成は、各校の担当教諭と密に連携を図りながら、各校共通で学べるものに加え、それぞれの地域特性をもちこんだ内容とすることで興味や関心を高めるように工夫した。	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	09	104600	教育普及事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,755	1,739		△ 16
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	76			△ 76
	一般財源	1,679	1,739		60

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標
文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯
博物館・資料館は、市民に郷土の歴史・文化を学び興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展示内容をより理解しやすくするため毎年展覧会・各種講座及び体験学習を展開している。また、学校教育と博物館活動の連携を充実させるため、博物館連携事業を実施している。

事業概要
 資料収集活動事業
 調査研究活動事業
 展示活動事業
 教育普及活動事業
 博物館と学校教育の連携による調査・研究
 体験学習・各種講座の開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
 小学校が博物館を訪れ学習活動を行う際、博物館が用意した見学内容に加え、各学校の地域の歴史や文化を学ぶことで学習効果が高まる。理解には学校側において児童への事前指導が重要であり、どのように博物館を利用した学習内容を設定するか、博学両担当者による検討が必要である。
 講座や体験学習については、参加者からは概ね好評を得ているが、よりニーズにあった内容の検討と実施に努める。

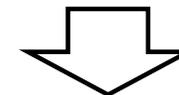
担当部署 部名 教育部 課名 博物館 担当係長 小原克仁 内線 32-1030 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

花巻市博物館が行う4つの活動

- ①資料の収集及び整理保管
- ②資料の展示公開
- ③調査研究及び情報の提供
- ④教育普及

項目		回数	内訳(直接経費)		内訳(共通経費)	
体験学習	花巻人形絵付け	2回	講師謝礼	32,000円	社会教育指導員報酬 1,386,000円 消耗品費 124,045円	
	花巻傘づくり	3回	講師謝礼	16,000円		
	こけし絵付け	1回	講師謝礼	8,000円		
	夢灯りづくり	2回	講師謝礼	32,000円		
	とんぼ玉づくり	2回	講師謝礼	24,000円		
	勾玉づくり	3回	消耗品費	26,400円		
	琥珀玉づくり	4回	消耗品費	29,400円		
	あんぎん編み	2回	—	—		
	縄文弓矢・火起こし	1回	—	—		
	博物館講座	9回	講師謝礼・旅費	—		
講座	出前授業・講座	21回	—	30,200円		
	古文書講座	3回	—	—		
博学連携業務			委員謝礼	30,000円		



市民文化の向上発展
 ふるさとの特色ある伝統文化を継承しながら、親しみ理解する生涯学習活動に貢献する。